

VOC 処理装置

～未来環境を創造するカンケンテクノ～

カンケンテクノ株式会社（京都府長岡京市）

技術の概要・特徴等

1. 強みとなる技術：熱酸化技術、熱交換器技術、スクラバー技術など

- 電気ヒータを用い、VOC(有機溶剤)を熱酸化分解により効率的に分解します。
- 高温になったガス(気体-気体間)の熱交換器は、当社独自の技術により、熱交換率を80%にすることが可能です。この数値は、そのまま省エネとなります。
- また、粉塵を含む等あらゆる排気ガスを、安全かつ完全に除害するスクラバーについても、お客様のご使用条件に合わせた設計が可能です。

2. 強みとなる技術を用いた製品の特徴

- 電気ヒーターや触媒を用いた、小型濃縮 VOC 脱臭装置：
内蔵の触媒により、排気ガスを濃縮したり、低温で効果的に分解処理します。
熱源に電気ヒータを採用しているため、失火の心配も無く安全です。
- コンパクト設計：
わずかなスペースにも設置が可能です。
- 低ランニングコストを実現：
高効率熱交換器と触媒の効率的な利用により、ランニングコストを大きく抑えます。

3. 技術・製品導入の効果

- 電気ヒータによる熱分解によるガス処理のため、燃焼方式のような CO₂ の発生はありません。また、NO_x の低減効果もあります。
- 高効率熱交換器により、装置の小型化、省エネが可能です。
- 省エネおよび熱回収によるエネルギー削減により、ランニングコストの低減が可能です。

4. 主な仕様

外寸 W : 800 × D : 1000 × H : 1900 (mm)

処理流量 (MAX) 20m³/min

処理ガス VOC ガス

※大容量の排気ガス処理にも対応いたします。



写真：小型 VOC 脱臭装置

納入業種

○VOC 処理装置は、半導体製造工場、印刷工場、液晶、ガラスなどの洗浄、塗装工場、化学工場など、広い範囲の業種で導入されています。

○海外納入実績

- ・ 欧米諸国 : 米国 (半導体工場)
- ・ 東南アジア諸国 : 台湾 (半導体、太陽電池工場、一般化学工場)
中国 (半導体、太陽電池工場、液晶工場、一般化学工場)
シンガポール (半導体工場、一般化学工場)
韓国 (半導体、液晶工場、一般化学工場)

今後の事業展開方針 等

- ①半導体、液晶デバイスメーカーや生産装置メーカーとのタイアップにより、いっそう省エネ、CO2 削減、ランニングコスト低減を実現する技術を市場に提供します。
- ②電気技術の活用により、CO2 削減、地球温暖化に貢献します。
- ③大学や民間の研究機関と連携し、高度な技術を開発します。
- ④米国、日本、台湾で、特許を取得し権利化を進めます。
- ⑤環境先進国日本で培った技術を海外へ積極的に輸出していきます。
- ⑥電気式のみならず、溶剤吸脱着技術、燃焼技術、プラズマ技術、スクラバ技術、除湿技術を使い、様々な排気ガス処理に対応できる最適なシステムを提供いたします。

会社概要

企業名：カンケンテクノ株式会社 資本金：10 百万円 従業員数：280 名
本社住所：〒617-0833 京都府長岡京市神足太田 30-2 [国内製造拠点] 京都府長岡京市
海外拠点：[製造拠点] 台湾
[販売拠点] 韓国、中国、台湾、マレーシア、シンガポール、
主要営業品目：有害性ガス材料の無害化、温室効果ガスの排出の抑制装置（除害装置）
URL：http://www.kanken-techno.co.jp/

本シートに関するお問合せ先

カンケンテクノ株式会社 住所：同上
営業部 TEL：075-955-8825
齋藤 文彦 FAX：075-955-8915
E-mail：sales@kanken-techno.co.jp